

【オリコンサルグローバルJV 田中 JICA 理事長が視察 ニューギニアのナザブ・トモダチ空港整備】



新設された旅客ターミナル

田中 JICA
理事長が視察

ニューギニアのナザブ
・トモダチ空港整備

オリエンタルコンサルタンツグローバル・梓設計JVがコンサルティング業務を実施しているパプアニューギニア・レイ市での「ナザブ・トモダチ空港整備事業」のプロシエクトサイトをJICA（国際協力機構）の田中明彦理事

長が4月19日に訪問し、空港施設などを視察した。

同事業は、ODA（政府開発援助）有償資金協力で本邦技術活用条件（STEP）を適用し、旅客ターミナルビル

（S造2階建て延べ約1万0740平方メートル）と駐車場を主とした新ターミナルを整備。既設の滑走路、誘導路、駐機場などの改修・拡幅も行う。

詳細設計、入札支援、施工管理などのコンサルタント業務はオリコンサルグローバルJVが担当。大日本土木・NIPPONJVが施工する。

増加する輸送需要に対応するとともに、老朽化が著しい施設・設備を更新することで利便性と安全性の向上に貢献する同事業について、同国のシユノーベル運輸航空大臣らと視察した田中理事長は「空港名にTOMODACHIを冠することは、パプアニューギニアと日本の友好を象徴するもの」とコメントしている。

アジア地域の需要を取得する。海外建築建材では、グループ会社に日本の技術を移し、アジアのハイエンド市場での差別化を図る。